

2020年度 年次報告書

NPO法人四街道プレーパークどんぐりの森

MISSSION 使命

- 子ども達が自然の中で遊びと遊ぶ場所を作ります
 - 子ども達が多く人に触れ、自ら曾田つことを見守ります
 - プレーパークでは子どもも大人も自然体で関わり、遊び、交わります
 - 遊びの大切さと意義を社会に伝えていきます

VISION たいせつにしたいこと

- 子どもが太陽と土と風のもとでたっぷりと遊び、豊かな「子ども時代」を過ごすこと
➤子どもが「やってみたい」とこに挑戦し、安心して失敗ができること
➤子どもが地域社会で人とつながりながら育つこと



コロナが始まりコロナで終わった2020年度。楽しみだったオリンピックも延期になりました。コロナ禍で2週間閉園をよぎなくされた昨年3月、その間も子ども達は森の入口まで様子を見に来ていました。そして再開した時、参加者からは口々に「会えてよかった」「開催ありがとう」「いつもの日常があって安心」の声が聞かれました。時にはテーブルなどの物が壊されたこともあります、心に溜まるストレスを目の当たりにしました。それだけ、子どもだけでなく大人も不安な日々を過ごしていましたのですね。その声を受けて、時間短縮、遊び道具の制限、受付での体温確認などの工夫を重ね、一年間開催を続けることができました。どうしたら開催できるか、運営者が感染対策をするだけでなく、参加者にも協力を呼びかけました。キーワードは「おもいやり」。ブレーバーでは「禁止」という言葉をなるべく使わないように感染対策のアイデアを出し合いました。「みつをさけよう にんげんだもの2メートル」(写真参照)の看板や、ベンチの「ベンキ塗りたて」のユーモア(笑)もちろん子ども達は触れ合うことでお互いの気持ちをぶつけあい、心が通じ合っていきます。不安な時だからこそ、だれかの温かさを身近に感じたいものです。体も心も健やかにこの状況を乗り切りたい。その時に必要なのは、自分だけだからいいだろう、ではなく相手のことにも思いをはせることでした。

コロナは自粛などの行動制限があり不自由な点も多かった反面、目に見えない大事なこと、いつもの暮らしがあるこのありがたさ、会って話すことの温かさ、自然の中に生かされている自分たちの存在などに気づかされました。そして、何よりこの瞬間も子ども達の心と体は育っていることを実感。この時期に出会えた子ども達、まだ出会えていない子ども達にも思いを馳せながら、「いつでもここにいるよ」「思いっきり遊ぼう」のメッセージを届けたいと思います。

1.活動報告

(1) 冒険遊び場プレーパークの開催

①新型コロナウィルス対策

- * 4月 7日～5月31日 平日13時～16時 土曜日開催は実施しない
※5月21日栗山ことりの森、5月28日鷹の台公園は市内公園使用の一斉自粛に伴い延期
 - * 6月 1日～6月14日 平日、土曜日 13時～16時
 - * 6月15日～ 通常開催 平日、土曜日 10時～17時
 - * 6月末までイベントは中止



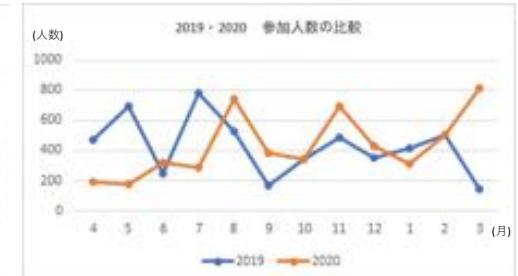
② プレーパークの開催

定期開催は年間**158日**。延べ**6,978人**の参加がありました。
新型コロナウィルス感染症緊急事態宣言を受けて開催出来ない日がありました
スタッフ、サポーター人数は延べ**595人**。

	どんぐりの森	中央公園	さとくらし公園	ことりの森	鷹の台公園	計
開催日数	119日	10日	9日	10日	10日	158日
累計参加人数	5,194人	572人	503人	319人	390人	6,978人
累計スタッフ/ボーター人数	497人	32人	23人	21人	22人	595人



2020年度は初参加が増加



8月から前年度を上回る

*和良比どんぐりの森（毎週月曜/金曜 第1・3土曜日は若者の野外の居場所として開催）



緊急事態宣言下、3月の2週間の休園明けからのプレーパークは時間を短縮し、遊具の使用を制限した状態でスタート。市内小中学校の休校、自粛中はどうしても不安な時の居場所として開催しました。プレーワーカーは家の過ごし方や自然観察などの情報も発信しました。6月から通常開催となりました。消毒、検温や遊具の設置工夫、三密回避など感染症対策をしての開催に参加者から「やっててよかった」、「いつもの日常をありがとう」の声。

年度前半の午前は自粛モードの影響で親子連絡は例年より少なく、保護者からは「家の過ごしが困る」「子どももストレスが溜る」といった状況も相談されました。

トレスが溜まつていつもより暴れる」などの相談もありました。8月は短い夏休みのため、連続ブレーパークを開催しました。中学生や大きい年齢の子も来ました。前年度実施できなかった森まつりの代わりになるものとという事で11月にスポーツイベント「モリンピック」を開催しました。3日に亘りワーカーと子ども達が考えた競技やステージを楽しみました。平日午前の参加者が少ない為、調理にかわる事で森に来てもらえるようクラフトに力を入れママ達のお喋りの場を作りました。出張ブレーパークからどんぐりの森へと参加者が流れ次第に午前の参加者が増えていました。保護者が情報交換をしたり話の場がある事の重要性を実感しました。